

様式第1号（第4条関係）

令和 年 月 日

那須塩原市長 様

代表者住所 那須塩原市 **共墾地108番地2**
サロン名 **とちなす生きがいサロン**
代表者氏名 代表 **小原 那須志**

令和〇年度生きがいサロン推進事業費補助金交付申請書

令和〇年度生きがいサロン推進事業に要する費用について、補助金の交付を受けたいので、那須塩原市補助金交付規則第4条の規定により、関係書類を添えて次のとおり申請します。

1 申請金額 360,000円

2 関係書類

（1）補助金交付概要書

（2）事業計画書

（3）収支予算書

（4）会員名簿

（5）連絡先

記入例

様式第2号（第4条関係）

補助金交付概要書

令和 年 月 日提出

申請団体等の名称	とちなす生きがいサロン		
代表者	小原 那須志	会員数	30 人
主な活動場所	〇〇自治公民館		
団体等の設立目的	地域の高齢者の居場所、生きがいづくりを支援する (団体の設立年月 令和〇年〇月〇日)		
団体等の主な事業	生きがいサロン推進事業及び地域活動		
補助金の名称	令和〇年度生きがいサロン推進事業補助金		
補助金申請額	360,000 円		
補助金の交付期間	令和〇年度 ～ 令和〇年度 [当該年度交付 〇〇年目]		
補助金の必要性	生きがいサロンの実施・運営及びサロンを通じた地域づくりの促進のため。		
補助金の使途 (支出充当状況)	※補助金の具体的な使い道を選んで、レ点を入れてください。 ☒レクリエーション活動 ☐多世代交流活動 ☒スポーツ交流活動 ☒生涯学習活動(講座・講話等) ☐地域美化活動 ☐ボランティア活動 ☒健康づくり活動 ☒会食・茶話会 ☐その他()		

記入例

様式第3号（第4条関係）

令和〇年度 事業計画書

（団体等の名称）とちなす生きがいサロン

（令和〇年〇月〇日提出）

月	日	事業名（活動内容）	開催場所	参加者数	備 考
4 月	9日	顔合わせ・茶話会	自治公民館	30 人	
	23日	お花見	〇〇公園	30 人	
5 月	14日	かしわ餅づくり	自治公民館	30 人	
	28日	地域緑化活動	〇〇公民館	30 人	自治会合同
6 月	11日	健康体操・茶話会	自治公民館	30 人	
	25日	そうめん流し制作	自治公民館	30 人	
7 月	9日	流しそうめん会	自治公民館	30 人	
	23日	出前講座	〇〇公民館	30 人	
8 月	13日	健康体操・茶話会	自治公民館	30 人	
	27日	ポッチャ体験	市民体育センター	30 人	
9 月	10日	おはぎづくり	自治公民館	30 人	
	24日	出前講座	自治公民館	30 人	
10 月	8日	健康体操・茶話会	自治公民館	30 人	
	22日	グラウンドゴルフ	〇〇公園	30 人	
11 月	12日	そば打ち	自治公民館	30 人	
	26日	紅葉狩り	〇〇公園	30 人	
12 月	10日	健康体操・茶話会	自治公民館	30 人	
	24日	クリスマス会	自治公民館	30 人	
1 月	14日	巻き寿司づくり	自治公民館	30 人	
	28日	出前講座	自治公民館	30 人	
2 月	11日	映画鑑賞	〇〇シネマ	30 人	
	25日	ティスコン体験	〇〇体育センター	30 人	
3 月	11日	桜餅づくり	自治公民館	30 人	
	25日	振り返り・茶話会	自治公民館	30 人	

記入例

様式第4号（第4条関係）

令和〇年度 収支予算書

（団体等の名称） とちなす生きがいサロン

（令和 年 月 日提出）

〔収入の部〕

〔単位：円〕

費目	令和〇年度予算	費目説明
市補助金	360,000	
負担金	72,000	会費（100円×30名×24回）
助成金	30,000	自治会より補助
雑入	0	
前年度繰越金	20,000	
収入合計	482,000	

運営費が市補助金と同額またはそれ以上になるよう予算を組んでください

収入・支出の合計を一致させてください

〔支出の部〕

〔単位：円〕

費目	令和〇年度予算	費目説明
運営費（補助対象経費）	報償費	50,000 講師等謝礼
	水光熱費	40,000 電気、ガス代等
	食糧費	120,000 茶菓子、飲み物等
	消耗品費	80,000 レク材料、使い捨て食器等
	印刷製本費	20,000 用紙、印刷代
	保険料	30,000 レクリエーション保険料
	郵便料	0
	送迎費	40,000 ガソリン代
	使用料・賃借料	50,000 会場使用料、バス借上代
補助対象外	例）研修費	45,000
	例）予備費	7,000
支出合計	482,000	

【注意事項】

- (1) 市補助金は運営費（補助対象経費）にのみ充当できます。
運営費（補助対象経費）の費目に該当しない支出は「補助対象外」として計上し、市補助金以外の収入（負担金、助成金、雑入、前年度繰越金）から費用を賄うようにしてください。
- (2) 様式に記載されている運営費（補助対象経費）欄の費目を変更、追加又は合算しないでください。
- (3) 「前年度繰越金」の額が前年度の実績報告書と同額になっているか確認してください。